

PRESS RELEASE

公立はこだて未来大学 入試・広報・就職課

〒041-8655 函館市亀田中野町 116 番地 2

TEL 0138-34-6444 FAX 0138-34-6383

E-mail: pub@fun.ac.jp

URL: <https://www.fun.ac.jp>

公立はこだて未来大学 25 周年記念事業ご案内

事業の目的

公立はこだて未来大学は、2000 年の開学以来、学生・教職員・卒業生・地域の皆さんとともに歩みを重ねてきました。25 周年を迎える今年度は、これまで築いてきたつながりをあらためて見つめ直し、これからの時代に向けて新たな関係を育んでいく機会と位置づけています。

本事業では、ワークショップや特別講演会などを通じて、多様な人々が語り合い、アイデアを交わす場を設けます。こうした対話を重ねながら、本学がこれからどのように地域や社会と関わり、どのように学びをひらいていくのか、その可能性をともに探っていきます。次の 25 年に向け、これまで以上に多様な人々と出会い、学び合い、新しい価値を創造する場であることを目指します。

イベント内容

- ワークショップの開催①

題 名：未来大の「未知」を探そう！——キャンパス内を撮影しながら発見を共有するワークショップ

場 所：公立はこだて未来大学 エレクトロニクス工房

内 容：写真や映像の作品を制作するアーティストの原田和馬さんをゲストに迎え、参加者のみなさんと未来大のキャンパスを撮影しながら発見を共有するワークショップを開催します。

日 時：令和 7 年 6 月 1 日（日）13 時 00 分～16 時 00 分

対象者：中高生以上

- 25周年記念特別講演会の開催

題 名：未来の学びをデザインする

場 所：公立はこだて未来大学 講堂

内 容：未来大の空間や活動を学習環境デザインの視点から取り上げた書籍『新版・未来の学びをデザインする』（2024年）著者の一人であり、東京大学大学院情報学環教授の山内祐平先生をお招きして特別講演会を開催します。

日 程：令和7年9月8日（月）

対象者：どなたでも参加可能です

- ワークショップの開催②

題 名：ドローンで撮る！空からの函館の絶景

場 所：公立はこだて未来大学 交流広場（本部棟南側）、アトリエ

内 容：みんなでドローンを操縦して、空から函館の美しい景色を撮影しよう！広場からは、風光明媚な函館山や横津岳が一望できます。さらに、建築界の「ノーベル賞」と呼ばれるプリツカー賞を受賞した山本理顕先生が設計した芸術的な建物も撮影可能です。撮影した動画に自分の好きな音楽をつけて編集し、特別な思い出を作りましょう。

時 期：令和7年10月（予定）

対象者：小学生以上

- ワークショップの開催③

題 名：未来大の“みらい”を思索する

場 所：公立はこだて未来大学内

内 容：25周年記念特別講演会の記録などで構成された展示を鑑賞しながら、今までの25年を振り返り、未来大に関係する人々と共に対話を行うことで「未来大の“みらい”」を思索してもらうワークショップを開催します。

時 期：令和7年11月（予定）

対象者：中高生以上

- ワークショップの開催④

題 名：道南スギを使ってモノづくり

場 所：公立はこだて未来大学内または市内の公共スペース（調整中）

内 容：地域材である道南スギを用いたグッズ制作を行うワークショップを開催します。レーザーカッターを用いて用意された材料を組み立て装飾するデジタルファブリケーションの体験を通し、情報技術、情報デザイン、未来大に興味を持ってもらうことを目的とします。

時 期：令和7年12月（予定）

対象者：小学生（中学年）以上

告知等に用いるシンボルマーク



FUN 25th オープンスペース・オープンマインド

2000 年に開学した公立はこだて未来大学は、
これまで 25 年間、
オープンな空間でのオープンな学びを実践してきました。
これからの 25 年は、
さらに、学びの場をキャンパスの外にもひろげ、
いつでも・どこでも・だれにでもひらかれた大学として、
ともに学び支え合う社会をデザインしていきます。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：公立はこだて未来大学 企画総務課 企画総務担当
連絡先 TEL：0138-34-6448 E-mail：a-dm@fun.ac.jp